

服飾専門課程	アパレル科 1 年	単位数：	担当教員： 本校教員	
		週13時間 / 年38週	実務経験のある教員	
科 目	被服構成理論・実習 1			
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>アパレル分野において、業界が求めるスペシャリストを育成するに当たっての基本的な知識、技術、技能に関してトータルのに学ぶ。</p>				
<p>授業の概要</p> <p>様々な基本のアイテムを製作し、素材選びから企画、パターン、縫製等を総合的に学ぶ。</p>				
<p>授業計画</p> <p>— 前 期 —</p> <p>スカート 〈 教科書説明・補正・仕様書・実習 〉</p> <p>ブラウス 〈 教科書説明・補正・仕様書・実習 〉</p> <p>パンツ 〈 教科書説明・補正・仕様書・実習 〉</p> <p>— 後 期 —</p> <p>デザインアイテム 〈 パターンメイキング・トワルチェック・教科書説明・補正・実習 〉</p> <p>ジャケット 〈 教科書説明 〉</p> <p>コート 〈 パターンメイキング・トワルチェック・教科書説明・補正・実習 〉</p> <p>部分.基礎縫い 〈 ポケット.ファスナー仕様.カフス明き 等 〉</p> <p>定期試験 … 前期試験 後期試験</p>				
<p>テキスト</p> <p>『服飾造形の基礎』 『スカート・パンツ』 『ブラウス・ワンピース』 『ジャケット・ベスト』 『コート・ケープ』 (文化ファッション大系 文化服装学院編)</p>				
<p>学生に対する評価</p> <p>出席率、授業態度、製作課題、定期試験等により総合的に評価する。</p>				

服飾専門課程	アパレル科 2 年	単位数：	担当教員： 本校教員	
		週12時間 / 年38週	実務経験のある教員	
科 目		被服構成理論・実習 2		
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>衣料製品の素材選び、デザインに応じたパターンメイキング、縫製技術の基礎から応用まで学ぶ</p>				
<p>授業の概要</p> <p>様々な素材を使用した縫製技術、体型やデザインに応じたパターンメイキングへの基礎から応用までを総合的に学ぶ。</p>				
<p>授業計画</p> <p>— 前 期 —</p> <p> カッターシャツ 〈 仕様書・製作・着実験 〉</p> <p> ジャケット 〈 教科書説明・補正・仕様書・柄合わせ・製作 〉</p> <p> 仮縫い方法</p> <p> カットソー講習</p> <p> 帽子</p> <p> ファッションショー作品 〈 パターンメイキング・トワルチェック・製作 〉</p> <p>— 後 期 —</p> <p> デザインアイテム 〈 パターンメイキング・トワルチェック・仕様書・着実験 〉</p> <p> オリジナルブランド 〈 パターンメイキング・トワルチェック・仕様書・着実験 〉</p> <p> 部分.基礎縫い 〈 ファスナー.パイピング.比翼明き 〉</p> <p> 定期試験 … 前期試験 後期試験</p>				
<p>テキスト</p> <p>『スカート・パンツ』『ブラウス・ワンピース』『ジャケット・ベスト』『コート・ケープ』 (文化ファッション大系 文化服装学院編)</p> <p>『パターンメイキング技術検定試験 2級ガイドブック』 (財団法人日本ファッション教育振興協会)</p>				
<p>学生に対する評価</p> <p>出席率、授業態度、製作課題、定期試験等により総合的に評価する。</p>				

服飾専門課程	アパレル科 1年	単位数：	担当教員名： 本校教員	
		週2時間	実務経験のある教員	
		/ 年38週		
科 目		パターンメイキング 1		
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>アパレル分野における基本的なアイテムや、ディテールの基本段階のパターンメイキングを理解する。</p> <p>パターンメイキング技術検定 3級取得。</p>				
<p>授業の概要</p> <p>アイテムごとに、基礎からパターンメイキングの方法を学ぶ。</p>				
<p>授業計画</p> <p>スカートのパターンメイキング</p> <p>ブラウスのパターンメイキング</p> <p>パンツのパターンメイキング</p> <p>ジャケットのパターンメイキング</p> <p>コートのパターンメイキング</p> <p>衿のパターンメイキング</p> <p>袖のパターンメイキング</p> <p>工業用パターンメイキング</p> <p>定期試験 … 前期試験 後期試験</p>				
<p>テキスト</p> <p>『スカート・パンツ』『ブラウス・ワンピース』『ジャケット・ベスト』『コート・ケープ』 『パターンメイキング技術検定試験 3級ガイドブック』（財団法人日本ファッション教育振興協会）</p>				
<p>参考書・参考資料等</p>				
<p>学生に対する評価</p> <p>出席率 授業態度 製作課題 定期試験等により、総合的に評価する。</p>				

服飾専門課程	アパレル科 2年	単位数：	担当教員名： 本校教員	
		週2時間 / 年38週	実務経験のある教員	
科 目	パターンメイキング 2			
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>衣料製品の基礎知識を学び、デザインに応じたパターンへの応用を学ぶ。 パターンメイキング技術検定 2 級取得。</p>				
<p>授業の概要</p> <p>ジャケット平面製図の基礎から応用までを学ぶ。 工業用パターンメイキング。</p>				
<p>授業計画</p> <p>ジャケットの基本パターンメイキング</p> <p>3 面体ジャケットのパターンメイキング (検定対策)</p> <p>4 面体ジャケットのパターンメイキング (検定対策)</p> <p>デザインスカートのパターンメイキング</p> <p>続き袖のパターンメイキング</p> <p>衿・袖のパターンメイキング</p> <p>メンズシャツ・パンツのパターンメイキング</p> <p>定期試験 … 前期試験 後期試験</p>				
<p>テキスト</p> <p>『ジャケット・ベスト』『コート・ケープ』(文化ファッション大系 文化服装学院編)</p> <p>『パターンメイキング技術検定試験 2 級ガイドブック』(財団法人日本ファッション教育振興協会)</p>				
<p>参考書・参考資料等</p> <p>学校独自のプリント</p>				
<p>学生に対する評価</p> <p>出席日数・授業態度・製作課題・定期試験等により総合的に評価する。</p>				

服飾専門課程	アパレル科 1年	単位数： 週2時間 / 年38週	担当教員名： 本校教員	
			実務経験のある教員	
科 目		ドレーピング 1		
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>ドレーピングについての基礎的な知識と技術を身につける。</p>				
<p>授業の概要</p> <p>工業用ボディに合わせ、各種デザインスカートのドレーピングについて学ぶ。</p>				
<p>授業計画</p> <p>ドレーピングとは</p> <p>シーチング地直し</p> <p>スカート原型</p> <p>ストレートスカート</p> <p>ギャザースカート</p> <p>ゴアードスカート</p> <p>定期試験 … 前期試験 後期試験</p>				
<p>テキスト</p> <p>『パターンメイキング技術検定試験 3級ガイドブック』（財団法人日本ファッション教育振興協会）</p>				
<p>参考書・参考資料等</p>				
<p>学生に対する評価</p> <p>出席率、授業態度・取組意欲、製作課題、期試験により総合的に評価する。</p>				

服飾専門課程	アパレル科 2年	単位数：	担当教員名： 野々村 陽子	
		週2時間 / 年38週	実務経験のある教員	○
			アパレル会社のパタンナーとして培った知識・技術を教授する。	
科 目		ドレーピング 2		
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>人体を立体的に見る目を養う。</p>				
<p>授業の概要</p> <p>基本シルエットを作り、理論的に袖を理解し、ドレーピングで袖付けをする。</p>				
<p>授業計画</p> <p>サイドダーツブラウス</p> <p>ストレートブラウス</p> <p>ノースリーブワンピース</p> <p>コート</p> <p>定期試験 … 前期試験 後期試験</p>				
テキスト				
<p>参考書・参考資料等</p> <p>『パターンメイキングの原理』 大野順之助著</p>				
<p>学生に対する評価</p> <p>各アイテムの完成度 50% 定期試験 50%</p>				

服飾専門課程	アパレル科 1 年	単位数：	担当教員名： 平畑 薫	
		週2時間 / 年38週	実務経験のある教員	○
科目		ファッションデザイン画1		
<p>授業の到達目標及びテーマ デザイン画の基礎を習得し、想像力や表現力を身につける。</p>				
<p>授業の概要 人体の構造、素材、ファッションアイテムなど、様々なデザイン画の描法を学ぶ。</p>				
<p>授業計画</p> <p>— 前期 —</p> <p>顔(正面・横・斜め) とヘアスタイル 画材の種類と使い方 8頭身プロモーション 正面ポーズと着装 バックスタイルとハンガーイラスト 応用ポーズと着装 フレア・プリーツ・ギャザーの描法 SS素材の描法</p> <p>— 後期 —</p> <p>AW素材の描法 柄の描き分け (ニット・チェック柄・ファー) メンズ・キッズ 実習コートデザイン画 トレンド写真からのデザインアレンジ デザイン出し コンテストデザイン画</p> <p>— 通年 —</p> <p>ハンガーイラスト</p> <p>・スカート・ブラウス・ワンピース・パンツ・AWトレンドアイテム・コート・ジャケット 写真スケッチ</p> <p>定期試験 … 前期試験 後期試験</p>				
<p>テキスト 『基礎から学ぶファッション画』 (エムディエヌコーポレーション)</p>				
<p>参考書・参考資料等 『ファッションデザインテクニック』 『スーパーファッションデザイン 基本ポーズ』</p>				
<p>学生に対する評価 試験の結果 30% 提出物 40% 授業態度・取組意欲 30%</p>				

服飾専門課程	アパレル科 2 年	単位数：	担当教員名： 中島 奈緒子	
		週2時間 / 年38週	実務経験のある教員	
科 目		ファッションデザイン画 2		
授業の到達目標及びテーマ デザイン画の技術を伸ばし、想像力や表現を養う。				
授業の概要 就職活動、コンテストに対応したデザイン画の描法を学ぶ。				
授業計画 S S トレント [®] とハンガーイラスト 基本ポーズの復習 応用ポーズ コンテスト応募課題 S S 素材の描写 写真スケッチ ファー素材と柄物の描法 ポートフォリオについて AWトレンド 早描きの練習 AWトレンドと素材の描法 デザイン発想 … 色や素材などのテーマを基にオリジナルデザインを考える ハンガーイラスト ・ブラウス ・スカート ・パンツ ・ニット ・コート ・ジャケット ・トレンチコート 定期試験 … 前期試験 後期試験				
テキスト 『ファッションデザインテクニック』（グラフィック社）				
参考書・参考資料等				
学生に対する評価 試験の結果 30% 提出物 40% 授業態度・取組意欲 30%				

服飾専門課程	アパレル科 1 年	単位数：	担当教員名： 中田 純子	
		週1時間 / 年12週	実務経験のある教員	○
			アパレル企業の勤務経験から、ビジネスに必要な様々な知識を教授する。	
科 目	材料学1			
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>アパレルデザインを商品化する上で、重要な素材の知識を習得し、適切な素材選定をするための素材の特性を理解する。</p>				
<p>授業の概要</p> <p>繊維の構造を理解し、それぞれの特性を生かした用途について考案する。</p>				
<p>授業計画</p> <p>繊維の分類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天然繊維 ・化学繊維 <p>編物の構造</p> <ul style="list-style-type: none"> ・種類・特徴 <p>編物の成型</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縫製方法 <p>高機能素材の用途</p> <p>布地の加工技術方法と目的</p> <p>素材の特性とデザイン</p> <p>素材の最近の傾向とトレンド</p> <p>定期試験 … 前期試験 後期試験</p>				
<p>テキスト</p> <p>『表生地標本集』（文化学園文化事業局）</p> <p>『ファッション販売3』（財団法人日本ファッション教育振興協会）</p>				
<p>参考書・参考資料等</p> <p>学校独自のプリント</p>				
<p>学生に対する評価</p> <p>出席率、授業態度、定期試験等により総合的に評価する。</p>				

服飾専門課程	アパレル科 2 年	単位数：	担当教員名： 中塩 礼子	
		週1時間	実務経験のある教員	○
		/ 年38週	アパレル会社のチーフデザイナーを経験し培った知識を教授する。	
科 目	材料学2			
授業の到達目標及びテーマ 現状のアパレル素材と特性の深化を学ぶ。				
授業の概要 現状のアパレル業界、商社、産地の国内外を含め知識を深める。 最新アパレルブランドのテキスタイルを使用し、その風合いとカラーリングとデザインの方向性を身につける。				
授業計画 ① 新アパレル素材の分類 ・ 繊維原料と非繊維原料 ② 国内産地背景の現在：尾州の特色―産学協同テキスタイル計画書の演習実施 組成別生地と生地名 ③ 新合繊は何故好評なのか =最新ファブリックとアパレル製品の手触りと製品デザインのヒントとアイデア、キーポイント、歴史 プルミエールヴィジョンパリとミラノウニカ =2大テキスタイル展の最新情報の入手 ④ 新アパレル素材の基礎 ・ 素材の感覚表現―風合い、重さとその製品デザインのキーポイント ・ 素材の加工―染色、仕上げとそのキーポイント ⑤ 新アパレル素材の基礎 コレクション・プレタポルテから読み解くテキスタイル表現の行方 ・ 素材デザイン選択の方向性 ・ マーケット最旬素材の情報とキーワード ・ マーケットへの提案 サスティナブルの行方=新ライフスタイルへファブリックの貢献と拡大 定期試験 … 前期試験 後期試験				
テキスト				
参考書・参考資料等 ・ 制作資料の配布 ・ アパレルブランドのファブリックと製品サンプル				
学生に対する評価 出席率、授業態度、定期試験等により総合的に評価する。				

服飾専門課程	アパレル科 1年	単位数：	担当教員名： 中塩 礼子	
		週1時間	実務経験のある教員	○
		/ 年38週	アパレル会社のチーフデザイナーを経験し培った知識を教授する。	
科目	カラーコーディネート1			
授業の到達目標及びテーマ アパレルデザインを展開する上で、色の基本ルール:色の用語、配色、心理、色の作り方、表現の修得をテーマに、カラーデザインの提案力ベースを身につけることを目標にする。				
授業の概要 色彩に関する基礎、色彩運用スキル、技術から色彩実務スキルまでカラーコーディネートの基礎とイメージの世界を広げる感性と理論を展開する。				
授業計画 <ol style="list-style-type: none"> ① 生活、ファッションにおける色彩の役割とはたらき <ul style="list-style-type: none"> ・色彩の機能は識別、サイン、シンボルと視認性、誘目性 ・ファッションと色彩は新しさの演出、時代の気分とイメージ、テイスト ② 色彩の体系—色の三属性 <ul style="list-style-type: none"> ・カラーダイヤルとカラースケール ・修正マンセル色相環体系とカラーリース制作(演習1) ・等色相面と色立体 ・ヒュー&トーンはカラーデザインワークに必須 ③ 色彩理論—基礎 <ul style="list-style-type: none"> ・色の成立ちに必要要素 ・光と色:りんごは何故赤く見える ・光のスペクトル ・三原色と混色 ・色相とトーンによる配色 ・点描と「スーラ」の技法 ・視覚と色 ・色彩と心理 ・色の見え:対比現象、色陰現象、同化現象 ・色彩の感情効果—色相、明度、彩度—イメージ展開と制作(演習2) ④ 色彩の技術—配色(演習3) 色彩構成の基礎 <ul style="list-style-type: none"> ・同一色相から補色による配色 ・トーン基準の配色による同一トーン、類似トーン、対照トーン ・デザインや絵画の作品において構成=コンポジションの制作(演習4) ⑤ ファッション産業における色彩の役割と仕組み <ul style="list-style-type: none"> ・コレクションとカラー情報のトレンドカラー入手 ・商品企画における色彩—トレンドカラーと定番色 ・流行色情報—インターカラーが流行色のスタート ・生産の色彩—染色 ・テキスタイルデザインのイメージ制作(演習5) <p>定期試験 … 前期試験 後期試験</p>				
テキスト 『ファッション色彩Ⅱ』 (財団法人日本ファッション教育振興協会)				
参考書・参考資料等 作成資料の配布				
学生に対する評価 出席率、授業態度、定期試験(前期 後期)等により総合的に評価する。				

服飾専門課程	アパレル科 2 年	単位数：	担当教員名： 中塩 礼子	
		週1時間 / 年38週	実務経験のある教員	○
		アパレル会社のチーフデザイナーを経験し培った知識を教授する。		
科 目	カラーコーディネート2			
授業の到達目標及びテーマ 国内外ファッション業界の色彩の独特なルール、決まり「色の作法」を身につけます。 カラーコーディネート1からファッションのプロを目標に色を取り扱う。				
授業の概要 カラーコーディネート1で修得した基礎理論を掘り下げ、アパレルファッション業界を想定し科学的な視点でとらえて修得します。 企画から販売、流通にいたる実務を想定し活用する応用的考え、手法を修得します。				
授業計画 <ol style="list-style-type: none"> ① 概論—産業における色彩 <ul style="list-style-type: none"> ・商品価値としての色彩 ・他商品との差別化 ・店頭売れ筋カラーとスタイリング ・色彩とコミュニケーションは注意を引く—記憶に残す—イメージを喚起する ② 色彩理論—光、視覚、心理 <ul style="list-style-type: none"> ・光と色 ・色の三属性と光—三属性の一つが変化すると他の要素はどの様に見える ・眼の誕生—若さと老い ・色覚説 ・ヤング=ヘルムホルツの三色説 ③ 色彩体系—色名とカラーシステム <ul style="list-style-type: none"> ・色名とは ・三属性による色の表示方法 ・標準色票 ・ファッション分野のための色見本 ④ 配色と色彩調和 <ul style="list-style-type: none"> ・流行配色とは ・8タイプの流行配色の制作 ・色彩調和論 ・ファッションイメージとカラーコーディネーションの制作(演習) ⑤ ファッション産業における色彩計画 <ul style="list-style-type: none"> ・情報としての色彩は何故必要か ・色彩情報のソース ・商品企画における色彩計画の立案、その手法と展開 ・生産段階、販売の色彩計画 ・パーソナルカラー/春夏秋冬の解説と似合う色とは <p>定期試験 … 前期試験 後期試験</p>				
テキスト 『ファッション色彩Ⅱ』（財団法人日本ファッション教育振興協会）				
参考書・参考資料等 制作資料の配布				
学生に対する評価 出席率、授業態度、定期試験等により総合的に評価する。				

服飾専門課程	アパレル科 1 年	単位数：	担当教員： 本校教員	
		週2時間 / 年20週	実務経験のある教員	
科 目	基礎デザイン			
授業の到達目標及びテーマ コンセプトを具体的かつ制作可能なデザインに展開するための手法とプロセスの修得をテーマに、その表現媒体、すなわち作品発表の場における時間・空間・装置・観客を意識した企画・提案力を身につけることを目標とする。				
授業の概要 本演習における立案行為はステージ発表を想定した広範囲なデザイン実践であることを認識し、個別の課題に対して提案・ディスカッション・決断を繰り返しながら、チームとしての総合力を発揮して解決策を導き出していく姿勢が大切である。 具体的内容は、(1) ショーテーマ・シーンコンセプトを理解する (2) デザイン展開の手法とプロセスを検討する (3) チームワークの重要性を認識して他者との合意形成を図り、解決策を探る (4) 発表の場を意識したプレゼンテーションを実施する。				
授業計画 01 ショーイメージの確認 02 ガイダンス/スケッチブック解説 03 チーム編成 04 デザインリサーチ I 05 デザインリサーチ II 06 チームコンセプト I 07 チームコンセプト II 08 個人デザイン画制作 09 個人デザイン画プレゼン 10 コレクションプラン・ミーティング 11 コレクションプラン・リサーチ 12 スケッチブック・チェック 13 コレクションプラン (チームデザイン) 決定 14 素材選定/プロトタイピング (サンプル制作) 15 コーディネートプラン/演出プラン決定 16 プレゼンツール制作 I 17 プレゼンツール制作 II 18 授業内プレゼン 19 プレゼン修正 20 学内プレゼン/講評				
テキスト				
参考書・参考資料等 作成資料の配布				
学生に対する評価 受講態度 50% 制作作品 (スケッチブック)、プレゼンテーション 50%				

服飾専門課程	アパレル科 2 年	単位数：	担当教員名： 中塩 礼子	
		週1時間	実務経験のある教員	○
		/ 年38週	アパレル会社のチーフデザイナーを経験し培った知識を教授する。	
科 目	産業デザイン			
授業の到達目標及びテーマ アパレル業界の現在の環境変化を反映するマーチャンダイジングの立案とそのプレゼンテーション計画				
授業の概要 アパレルデザインの実施。 ターゲットの顧客が「いつ」「どこで着用か」を想定し、シーズンコンセプトカラー、ファブリック、スタイリング、アイテム展開の基本計画書を作成する。				
授業計画 1. ファッション業界に提案企画するフォーマット制作 2. 先行するブランド、マーケット環境の情報入手と分析 3. ファッションマーケット動向の調査とサムシングニューの発見 4. アパレルブランドの創出に向け、独自性のブランド提案をする ・計画書作成 ①ブランドイメージの創出と確認 ②オリジナルコンセプト、キーワードとターゲットを座標軸で設定 ③ブランド名とブランドルーツの明確化 ④スタートアップする時期、シーズンの明確化 ⑤ブランドのトータルスタイリングとアイテムデザイン展開 ⑥カラー展開とファブリック展開のイメージ企画書作成 ⑦ターゲット顧客層、イメージをプライスライン編入させ作成 ⑧店舗ステージ展開プロモーション含め プレゼンテーションを実施し全体での最終ミーティング / 講評				
テキスト				
参考書・参考資料等 ・制作資料の配布 ・国内外のブランド創出企画と展開、プレゼン手法				
学生に対する評価 題意把握 20% 内容構成 10% 論理性 20% 論拠明示 10% 独自性 20% 表現の明瞭正確さ 20%				

服飾専門課程	アパレル科 1 年	単位数： 週1時間 / 年38週	担当教員： 本校教員	
			実務経験のある教員	
科 目	C G 1			
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>コンピューターグラフィックスを利用し、アパレル業界で必須のAdobeソフトの使用方法を学習する基礎から順次学習し、実践力を高める。</p>				
<p>授業の概要</p> <p>AdobeIllustratorCC・PhotoshopCCを使用して、デザイン画やプレゼンテーション用の資料作成方法を学ぶ。</p>				
<p>授業計画</p> <p>～ PhotoshopCC使用 ～</p> <p>基本操作</p> <p>写真素材の加工</p> <p>スタイル画の着色</p> <p>マップ作成</p> <p>～ IllustratorCC使用 ～</p> <p>基本操作</p> <p>トレース</p> <p>ハンガーイラスト作成</p> <p>～ PowerPoint ～</p> <p>プレゼン資料作成</p>				
<p>テキスト</p> <p>学校独自のプリント</p>				
<p>参考書・参考資料等</p>				
<p>学生に対する評価</p> <p>提出物 70% 取組姿勢 20% 習熟度 10%</p>				

服飾専門課程	アパレル科 2 年	単位数：	担当教員： 本校教員	
		週1時間 / 年38週	実務経験のある教員	
科 目	C G 2			
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>コンピューターグラフィックスを利用し、アパレル業界で必須のAdobeソフトの使用方法を習得し、活用することを目標に、実践を交えて学習する。</p>				
<p>授業の概要</p> <p>AdobeIllustratorCC・PhotoshopCCを使用して、デザイン画 仕様書 イメージマップ等を作成する</p>				
<p>授業計画</p> <p>～ IllustratorCC使用 ～</p> <p>ジャケット・カッターシャツ縫製仕様書作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハンガーイラスト作成 ・縫製仕様図作成 ・テキスト入力 <p>スタイリングシート作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハンガーイラスト作成 ・オリジナルパターン作成 <p>デザイン画作成</p> <p>～ PhotoshopCC使用 ～</p> <p>イメージマップ作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デザイン画着色・加工 ・写真素材の加工・合成 <p>定期試験 … 前期試験 後期試験</p>				
<p>テキスト</p> <p>学校独自のプリント</p>				
<p>参考書・参考資料等</p> <p>『ファッションデザインテクニック』（グラフィック社）等</p>				
<p>学生に対する評価</p> <p>出席日数・授業態度・課題・定期試験の結果を総合的に評価</p>				

服飾専門課程	アパレル科 2 年	単位数：	担当教員名： 山田 秀子	
		週1時間	実務経験のある教員	○
		/ 年38週	アパレル企業のCADオペレーター勤務の経験からCADシステムの操作法を教授する。	
科 目		アパレルCAD		
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>入力作業からパターンメイキング・パターン展開を中心に、グレーディング、マーキングまでの基本的操作を習得する。</p>				
<p>授業の概要</p> <p>カットソー・スカート・カッターシャツ・ジャケットのパターン制作の実践。 グレーディング、マーキングの基礎を学ぶ。</p>				
<p>授業計画</p> <p>アパレルCADの説明</p> <p>カットソー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スキャナー、デジを使用し入力作業 ・ パターンメイキング ・ 出力 <p>スカート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パターンメイキング ・ スカート展開 ・ グレーディング ・ 縫い代付け <p>カッターシャツ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パターンメイキング ・ 縫い代付け ・ 出力 <p>ジャケット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パターンメイキング ・ 縫い代付け ・ 出力 <p>マーキング</p>				
<p>テキスト</p> <p>学校独自の教材</p>				
<p>参考書・参考資料等</p>				
<p>学生に対する評価</p> <p>授業態度・取組意欲 50% 理解度 30% 試験の結果 20%</p>				

服飾専門課程	アパレル科 1 年	単位数：	担当教員名： 中田 純子	
		週1.5時間	実務経験のある教員	○
		/ 年38週	アパレル企業の勤務経験から、ビジネスに必要な様々な知識を教授する。	
科 目	ファッションビジネス・市場調査			
授業の到達目標及びテーマ ファッション企業が求める企業人としての必要な知識の基礎を学ぶ。				
授業の概要 ファッションビジネス業界の特性、現状。アパレル生産から消費までのプロセス。				
授業計画 ファッションビジネスの特性 ファッション生活 ファッション消費 ファッションを取り巻く現状 ファッション産業の構造と現状 ファッションマーケティングとは ファッションマーチャンダイジングとは ファッションアパレル産業と物流・流通の現状 2021 AW マーケットリサーチ アパレル小売業とグローバル化 ビジネス基礎知識・計数知識 ファッション造形知識 デザイン文化・コーディネート・スタイリング マーケットリサーチ (東京研修) FB2級検定対策 計数知識 定期試験 … 前期試験 後期試験				
テキスト 『ファッションビジネス1』 (財団法人日本ファッション教育振興協会)				
参考書・参考資料等 学校独自のプリント				
学生に対する評価 出席率、授業態度、定期試験等により総合的に評価する。				

服飾専門課程	アパレル科 2 年	単位数：	担当教員名： 中塩 礼子	
		週1時間	実務経験のある教員	○
		/ 年38週	アパレル会社のチーフデザイナーを経	
科 目	ファッションビジネス 2			
授業の到達目標及びテーマ ファッション業界の大転換・変革時におけるパートⅡ ファッションビジネスの進化をリアルマーケットをベースに修得する。				
授業の概要 ファッションビジネスの特性と役割を具体的に提案し、意欲的な参加意識を深める。				
授業計画 ①ファッションマーチャンダイジング アパレルMDと商品開発の手法 ・FB革命前夜：デジタルマーケティング、ECの拡大と世界戦略 ・自己発信のポートフォリオ ②リテールMDとバイイング ・変動するマーケット「今」…オムニチャネルの戦略と動向 ・マーケット情報と先行情報と分析、キーポイントを分析する ・店舗におけるSWOT分析は何故必要か ③ファッション情報何故必要か ・アパレル業界のその手法と分析方法 ・アパレル企業の最新チャネル戦略と課題 ④ファッション企業のプロモーションとグローバルな戦略拡大 ・予測&先行情報とキーポイントを分析し、プレゼンテーションの実施 ・市場の変化とVMD戦略とは？ ⑤アパレル市場の「サステイナブル」と「新ライフスタイル」 ⑥ファッションコーディネートの変革期は何故出現したか ⑦マーケットリサーチ 報告書提出 定期試験 … 前期試験 後期試験				
テキスト 『ファッションビジネスⅡ』（財団法人日本ファッション教育振興協会）				
参考書・参考資料等 ・制作資料の配布 ・国内外ブランドの企画立案書とデザイン				
学生に対する評価 出席率、授業態度、定期試験等により総合的に評価する。				

服飾専門課程	アパレル科 1年	単位数：	担当教員名： 中田 純子	
		週1時間	実務経験のある教員	○
		/ 年10週	アパレル企業の勤務経験から、ビジネスに必要な様々な知識を教授する。	
科 目	ファッション販売			
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>顧客との最適なコミュニケーションを達成するための商品知識、販売技術を習得する。</p>				
<p>授業の概要</p> <p>アパレルの流通から、販売 顧客情報などを基礎から学ぶ。</p>				
<p>授業計画</p> <p>①ファッション販売技術</p> <p>②商品知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・素材 ・アイテム ・サイズ <p>③売り場作り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・VMD ・ディスプレイ <p>④店舗の計数管理</p> <p>定期試験 … 後期試験</p>				
<p>テキスト</p> <p>『ファッション販売3』『ファッション販売2』（財団法人日本ファッション教育振興協会）</p>				
<p>参考書・参考資料等</p> <p>学校独自のプリント</p>				
<p>学生に対する評価</p> <p>出席率、授業態度、定期試験等により総合的に評価する。</p>				

服飾専門課程	アパレル科 1 年	単位数：	担当教員名： 中田 純子	
		週1時間 / 年10週	実務経験のある教員	○
			アパレル企業の勤務経験から、ビジネスに必要な様々な知識を教授する。	
科 目		服装史		
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>人が服飾美を追究してきた歴史を学び、現代社会における服飾の文化的役割を考える。</p>				
<p>授業の概要</p> <p>主として西洋の服飾の変遷をたどり現在の服飾の成り立ちを知る。</p>				
<p>授業計画</p> <p>古代～中世</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洋服の成立と変遷 <p>近世～近代</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会の変動と服装の関係 ・流行の始まり <p>現代</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トレンドの変遷と活躍したデザイナー ・ファッションの現在 <p>定期試験 … 後期試験</p>				
<p>テキスト</p> <p>『ファッション史 改訂版 -西洋服装史概説-』（文化学園文化事業局）</p>				
<p>参考書・参考資料等</p> <p>学校独自のプリント</p>				
<p>学生に対する評価</p> <p>出席率、授業態度、定期試験等により総合的に評価する。</p>				